

声を上げ続ける

1面から

大使館前以外の通りや電車の中でも「SAVE GAZA(ガザを救え)」「ガザに平和を」と書いたプラカードを掲げて歩いてきました。イスラエルからの観光客だと思っ...



柳さんが配っているポストカード

きました。その歴史観を根本的に問い直さない限り、いつまでも同じことの繰り返しになりかねません。その意味では、今回の事態はイスラエルがど...

通りかかると人々には、「あなたの声を、イスラエルに届けましょう」と呼びかけて、イスラエル大使館の宛て先を...

書くとなれば、構想に半年、執筆に1年、実際に本として出るのは2年先になる。今はひとまず、今日明日殺される人たちの命を、一人でも二人でも救いたい、そう思っ...

今ガザで行われているのは、戦争ではありません。一方的な殺戮です。国際法で禁じられている集団的懲罰です。ハマスが悪いというのなら、国際司法の場で裁くべきです。ガザの支援はこれからです。瓦礫の山になっ...

本当の平和を

出版社からは、「今強く思っていることを小説に書いてみては」と言われ...

分たちは古代、エジプトから追い払われた、パレスチナは本来自分たちの土地なのだという神話から自らの歴史をつくっ...

イスラエルがパレスチナ・ガザ地区に対する大規模な軍事攻撃を開始して2年の10月10日、イスラム組織ハマスとイスラエルの停戦合意が発効しまし...

談話

停戦の確実な実行、ガザへの人道支援に全力を

新日本婦人の会副会長 平野恵美子

イスラエルの不法な占領を終わらせ、パレスチナの自決権を含む2国家解決へ、国連と国際社会が力を尽くすこと、日本政府も積極的な役割を果たすよう求めます。

一方、停戦は不安定で、ガザ攻撃再開の可能性も報道されています。国際的な監視をつよめ、戦闘の完全終結、イスラエル軍の全面撤退と占領終了へと向かわねばならぬことを強く求めます。

停戦維持を女性平和キャンプ



婦人国際平和自由連盟(WILPF)スペイン支部などが呼びかけ10月10日~19日、欧州連合(EU)本部のあるベルギーのブリュッセルで女性平和キャンプを開きました。各地から女性150人が集いパレスチナ女性たちとの交流やデモ、EUへ要請しました。要請ではイスラエルの良心的兵役拒否者、サハル・バルディさんが「停戦を継続させ占領を終わらせるには、制裁や武器禁輸などの圧力が必要。早くやっていたら今回の事態は防げた。EUは行動を」と訴えました。パレスチナのリーム・ハッサンさんも「世界中で市民が連帯している。この力がもっと必要。戦争はまだ終わってはいない。占領終了、パレスチナ国家樹立を」と発言。女性たちの行動で各国政府を動かしていきましょう。

マリベル・エルナンデス (WILPFスペイン支部、2024年女性平和基金招待者)



イスラエル軍の全面撤退と占領終了へと向かわねばならぬことを強く求めます。

女性ニュース

2025.10.25

国民そっちのけ

21日の臨時国会での首相指名へ、自民党は少数転落と自公連立解消で、維新、参政党、旧N党などの改憲・極右派結集に必死。新婦人は、スパイ防止法や医療崩壊、大軍拡などの危険に警鐘を乱打し、対話と仲間、共同の輪をひろげる活動を強化。

被団協平和賞1年



日本被団協のノーベル平和賞受賞発表1年の11日、都内で広く各界が集った。政府に核兵器禁止条約参加

を求める署名提出集会(11月21日)へととりくみ強化を呼びかけた。写真中央は米山淳子新婦人会長。

スポーツの秋

12日、スポーツ庁が体力・運動能力調査結果(24年、5.9万人)を発表した。比較可能なこの26年間、シニアの体力向上が目立ち、70代後半の男性は65%、女性は67%が上位にランクされ、全世代中、最も高い。一方、30代は低迷し、女子が低下。

クマ被害急増

各地でクマ被害が相次ぎ、2025年度、死亡7人となった(15日現在)。統計のある06年度以降最多。注意喚起と人命保護とともに、気候変動による餌の凶作、里山の藪化、耕作放棄地、居住区への生息域拡大など、

人間の関与が指摘されており、原因に目をむけた対策が急務となっている。

カジノ中止を

大阪・関西万博が13日、閉幕した。入場者は2558万人で、想定2820万人を下回った。吉村府知事は運営費の黒字を強調したが、警備費や途上国支援金などを除外、巨額の税金が投入された。建設業者への未払い、高濃度メタンガスなど数々の問題が露呈し、4月から着工したカジノ建設中止の声が高まっている。

ケア労働の処遇改善を

岩手県議会は10日、診療・介護報酬の抜本引き上げでケア労働者の処遇改善を求める意見書を可決した(自公反対)。県レベルで初。2024

年平均年収(正規)は全産業527万円、保育士407万円、介護職376万円。

ノーベル賞2氏

今年のノーベル賞生理・医学賞に坂口志文大阪大学特任教授、化学賞に北川進京都大学特別教授が決定した。偉業への賞賛とあわせ、国が基礎研究費削減をやめ、大幅強化へと転換することが求められる。

2025 NGO日本女性大会

11月16日(日)10:00~16:00/東京・エッサム神田ホール2号館/パネル討論 岸本聡子杉並区長、田中優子、能條桃子、上野千鶴子各氏/主催:国際婦人年連絡会(33団体、新婦人加盟)/一般1500円、学生1000円/申し込みはオンラインで→

